

5部

オンデマンド・
スクーリングのご案内



在宅で受講可能な「オンデマンド・スクーリング」を下記の科目について、実施いたします。※同一期に複数科目の申込みができます。

[重要]

オンデマンド・スクーリングでは、受講申込みからスクーリング試験提出まで、すべてパソコン上で操作していただきます。

また、オンデマンド・スクーリングのスクーリング試験は、一部の科目を除き、ワードファイルに解答を作成していただき、そのワードファイルをメールに添付して提出していただきます。

本学において、メールの送信、ワードの使用方法などパソコンの一般的な操作方法に関するご質問は受付けておりませんのでご了承ください。

●今回申込みを募る科目＝オンデマンド・スクーリング 18～20期

期	(注2)			科目名	申込締切 (注1)	受講開始	受講料 納入締切	スクーリング 試験締切 (注1)	S単位	受講料	
	～20	21 ～23	24 ～								
18	心理系			認知心理学	1/12	1/22	2/1	2/20	2	10,000円	
	◆	★	■	社会保障論					2	10,000円	
		★	■	福祉法学					1	5,000円	
		★	■	更生保護制度論					2/27 (注3)	1	5,000円
	◆			福祉法学					2	10,000円	
19	心理系			社会心理学	1/19	1/29	2/8	2/27 (注3)	2/20	1	5,000円
		★	■	社会調査の基礎					1	5,000円	
	◆			社会福祉援助技術論Ⅱ					2/27 (注3)	1	5,000円
		★	■	社会福祉援助技術総論					2	10,000円	
	心理系			老年心理学					2	10,000円	
20		★	■	保健医療サービス論	2/2	2/12	2/22	3/6 (注3)	1	5,000円	
	◆	★	■	地域福祉論				3/13 (注3)	2	10,000円	
	心理系			心理アセスメント				1	5,000円		

●申込上の留意点

(注1) 締切日の正午必着。締切日後1～3日間は必ずメールをチェックしてください(不備の場合連絡します)。

(注2) ◆=平成14～20年度入学者 ★=平成21～23年度入学者

■=平成24年度以降入学者向け科目

(注3) 3月卒業希望者はスクーリング試験・別レポート(再提出の方のみ)とも2月20日正午必着となります。

※(注3)に関しまして、初回レポートの提出期限は3月卒業希望者は1月10日となっておりますので、オンデマンド・スクーリングを受講する場合でも、初回レポート期限までに通常課題にてレポートを提出してください。

※オンデマンド・スクーリング申込・受講・単位修得方法やTFUオンデマンド使用方法の詳細は『学習の手引き』10章、概要は2013、2014版p. 11、2009-2011★版および2002-2008◆版p. 9に記載がございます。必ずご理解いただいたうえで受講申込みを行ってください。

※各科目のスクーリング試験の内容などは締切後受講開始日までに郵送(または「TFUオンデマンド」上からダウンロード)される「試験要領」で確認ください。

●「2つの講義(試験)は同時に視聴(受験)できません」と表示される場合『試験・スクーリング 情報ブック2014』p. 59～60(または4月新入生は『学習の手引き 2014』p. 270)に対処方法が掲載されています。

●『試験・スクーリング 情報ブック2014』p. 58～59訂正のお願い

・10月～3月開講分『With』掲載号がすべて1号ズレています。

・「保健医療サービス論」の◆を削除。H21年度以降入学者対象科目です。

スクーリング・アンケートより(1)

アンケートよりスクーリングの講義の感想を抜粋いたしました。

●社会調査の基礎

- ・質的研究において、ラポール形成が大切な要素になることを学び、とても新鮮に感じました。「社会調査の基礎」という学問が、社会福祉士として求められる人間力の基礎にもなるのだと感じました。
- ・社会調査はこれまで苦手としていた分野でした。自分が経験した研究などでは、いつも最終的に詰め甘さを痛感していましたが、どの段階でどのように研究過程を振り返ればいいのか、今回の講義でわかったような気がします。

●福祉行財政と福祉計画

- ・国の歳出のなかで社会保障関連費が最も多いこと、年金・医療・介護への給付が7割を占めることを学び、高齢者医療の実情、高齢者の尊厳のあり方を含めて、もっと議論されるべきではないかと感じます。
- ・国の歳入が、租税収入とともに同じぐらいの規模の公債金に頼っていることを初めて知りました。今後さらに消費税を増やすのであれば、生活支援の対策もほしい、などといういると考えさせられました。

●医学一般

- ・現場での経験による思い込み等もあったため、基礎的なことを振り返ることができて良かったです。相談援助場面だけでなく、医学・生理的にみても個人差があることを忘れてはいけないと感じました。
- ・人間の体のつくりの素晴らしさを感じました。なんと緻密にできているのだろうと不思議に思いました。大切に使わなくてはと改めて思います。

●精神保健福祉の制度

- ・講義の中で、イタコさんが国の自殺対策の活動に貢献されている地域があることを知り、とても興味深かったです。私たちそれぞれの地域にもまだまだ資源が眠っているのではないかと感じます。
- ・精神障害者の住居や就労先の受け入れ拡大、事業所の開拓など、必要性の高さを実感し、今後について考えさせられました。

●産業カウンセリングⅡ

- ・自分の常識や価値観をもとに他者を判断してしまったり、自分なりの考えを述べてしまったりすることは往々にあるように感じます。改めて一人ひとり準拠はそれぞれ違って当然であること、考え方は異なっても、その過程を理解していく必要があるのだということを学んだと思います。